



たづがね (鶴が音)



「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子

【感謝の会、送る会】

雪が降りしきる中、2月21日(金)に感謝の会、そして6年生を送る会を開催しました。

感謝の会には日頃からお世話になっている地域の方が8名来校してくださいました(残念ながら雪で来られない連絡があった方も複数)。児童代表が感謝の言葉を伝えました。そして、送る会では、1年生から6年生まで全員が互いに感謝の気持ちを伝えることができました。気温が低かった体育館ですが、温かい想いが満ちあふれたひとときでした。



西北台小 HP にも掲載しています。
ぜひご覧ください

言葉・言葉遣いについて

「親しき仲にも礼儀あり」という言葉があります。

中国の昔の思想家である孔子の弟子等がまとめた「論語」が由来であると言われています。意味は、【親しみ過ぎて遠慮がなくなると、仲が悪くなるもとになるから、親しい相手でも礼儀を 重んじよう】ということです。(Yahoo の検索より)
本校の児童は、1年生から6年生までとても仲良しです。仲良し故に、何を言ってもよいという雰囲気が感じられるときがあります。実は、普段の遊びなどの中で発せられた言葉で、心を痛めている子がいます。

学校では「ふわふわことば」を使うように指導しています。その反対は「チクチクことば」です。何気なく発した言葉、親しく仲良しから大丈夫と思って使う言葉、あそびの時の延長で調子よく出てくる言葉など、相手のことを気にかけて発せられる言葉があります。受け取った側によって感じ方は異なります。だからこそ相手を尊重した、敬う使い方を考える必要があります。5年生は国語科で敬語を学習しました。

学校でも気になる言葉や言葉遣いが聞かれた場合は、言い直しさせたり考えさせたりする指導を行っています。ぜひご家庭においても、気になる言葉遣い等があった場合は、親子で考える場を設けてください。

我々大人も普段から使う言葉や言葉遣いに気をつけないといけませんね。子どもが聴いています。